

令和五年度

沖館小学校

体験学習

【最近のふれあい事業】

今回は、令和5年11月8日（水）沖館小学校学校林で行った
青森県立沖館小学校5年生79人を対象とした**体験学習**についてです。

聞く



書く

体験する



今年度は「森林の働きを知る」というテーマで「木」「水」「生物」「林業」の4つのグループに分かれて学ぶ体験学習を行いました。当署の職員は「林業」グループの講師を担当しました。

当署では、「聞く」「書く」「体験する」を主軸としてふれあい事業を行っています。今回も児童たちが興味関心を持ってくれるように工夫を凝らし「林業」について説明しました。

当署のふれあい事業の主軸である、児童たちに「聞かせ」「書かせ」「体験させる」ために、実際に木に触れてもらうこと以外にも、当署お手製の林業紙芝居を使用し、児童たちにわかりやすく林業作業の流れについて説明しました。

説明を「聞かせる」ために、あえて聞き馴染みのないワードを言うようにしています。そうすると、児童たちの興味関心は自然と私たちに向き、熱心に説明を「聞いて」くれるからです。それと同時に「覚えたい」という意欲が湧き、説明したことをノートにまとめだしてくれ、「書かせる」という目標もクリアできました。

また、このお手製紙芝居は取り外し可能な切り絵が貼られています。児童たちにはその切り絵を貼ったり剥がしたりしてもらい、疑似的ではありますが実際に林業を「体験」してもらいました。



沖館小 5年生皆さんの真剣な眼差しと、ハツラツとした姿を見てこちらも元気を貰えました。今後の改善点も見つかり、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。

これを機に森林・林業にさらに興味を持ってくれることを願っております。今後も、このような体験学習を行い森林・林業の指導及び普及に努めてまいります。